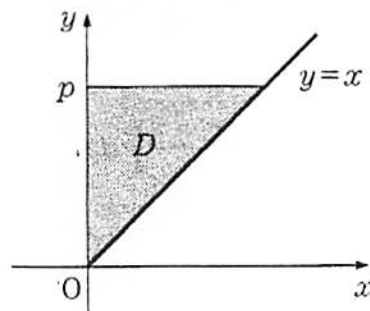


例題 705 積分順序を変更することにより、次の累次積分を計算せよ。

$$(1) \int_0^p dx \int_x^p \sqrt{a^2 y^2 - x^2} dy \quad (a \geq 1, p > 0)$$

$$(2) \int_0^4 dx \int_{\sqrt{x}}^2 \frac{dy}{\sqrt{y^3+1}}$$

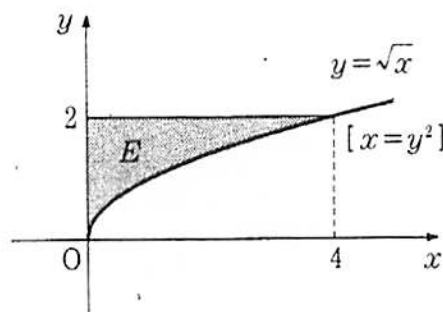
【解答】 (1) この累次積分は右図の領域 D ：
 $0 \leq x \leq p, x \leq y \leq p$ での重積分に等しい。そこで、その重積分の値を D を横線領域 $0 \leq y \leq p, 0 \leq x \leq y$ とみて計算すればよい。



$$\begin{aligned} & \int_0^p dy \int_0^y \sqrt{a^2 y^2 - x^2} dx \\ &= \int_0^p dy \frac{1}{2} \left[x \sqrt{a^2 y^2 - x^2} + a^2 y^2 \sin^{-1} \frac{x}{ay} \right]_{x=0}^{x=y} \\ &= \frac{1}{2} \int_0^p \left(\sqrt{a^2 - 1} + a^2 \sin^{-1} \frac{1}{a} \right) y^2 dy = \frac{1}{6} \left(\sqrt{a^2 - 1} + a^2 \sin^{-1} \frac{1}{a} \right) p^3. \end{aligned}$$

(2) この累次積分の積分領域は

$$E: 0 \leq x \leq 4, \sqrt{x} \leq y \leq 2 \text{ (右図)}$$



問 706 次の累次積分の順序を変更せよ。 $f(x, y)$ は考える領域で連続で、 $a > 0$ とする。

$$(1) \int_0^a dx \int_0^{2x} f(x, y) dy \quad (2) \int_0^a dx \int_0^{\sqrt{a^2-x^2}} f(x, y) dy$$

$$(3) \int_0^1 dx \int_x^{2-x^2} f(x, y) dy$$

同音地著「微分積分演習」
 (裳華房 2004)

第2問 2次関数

$$y=2x^2-4(a+1)x+10a+1 \quad \dots \textcircled{1}$$

$$=2(x^2-2(a+1)x)+10a+1$$

$$=2(x-(a+1))^2-2a^2+6a-1$$

より、グラフ G の頂点の座標は

$$\left(a+ \boxed{1}, \boxed{-2} a^2+ \boxed{6} a- \boxed{1} \right)$$

である。

(1) グラフ G が x 軸と接するのは

$$(\text{頂点の } y \text{ 座標}) = -2a^2+6a-1=0$$

すなわち

$$2a^2-6a+1=0$$

より

$$a = \frac{-(-3) \pm \sqrt{(-3)^2 - 2 \cdot 1}}{2}$$

$$= \frac{\boxed{3} \pm \sqrt{\boxed{7}}}{\boxed{2}}$$

のときである。

(2) $m = -2a^2+6a-1$ となるのは、グラフ G の軸が区間に含まれるときであり

$$-1 \leq a+1 \leq 3$$

より

$$\boxed{2} \leq a \leq \boxed{2}$$

のときである。

$a < -2$ すなわち $a+1 < -1$ のとき、最小値 m は $x = -1$ を①に代入して

$$m = 2(-1)^2 - 4(a+1)(-1) + 10a + 1$$

$$= \boxed{14} a + \boxed{7}$$

$2 < a$ すなわち $3 < a+1$ のとき、最小値 m は $x = 3$ を①に代入して

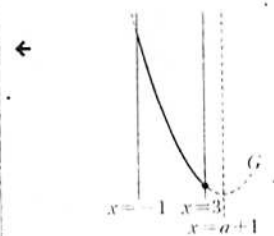
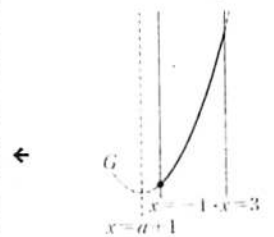
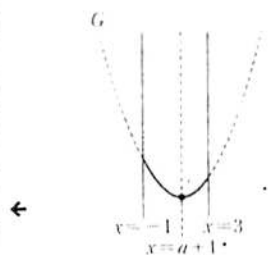
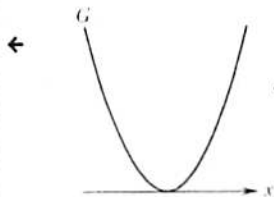
$$m = 2 \cdot 3^2 - 4(a+1) \cdot 3 + 10a + 1$$

$$= \boxed{-2} a + \boxed{7}$$

である。

$$a < -2 \text{ のとき, } m = \frac{7}{9} \text{ とすると}$$

$$14a + 7 = \frac{7}{9}$$



$$a = -\frac{4}{9}$$

であるが、これは $a < -2$ に反する。

$$-2 \leq a \leq 2 \text{ のとき, } m = \frac{7}{9} \text{ とすると}$$

$$-2a^2 + 6a - 1 = \frac{7}{9}$$

$$9a^2 - 27a + 8 = 0$$

$$(3a-1)(3a-8) = 0$$

であり、 $-2 \leq a \leq 2$ より、 $a = \frac{1}{3}$ 。

$$2 < a \text{ のとき, } m = \frac{7}{9} \text{ とすると}$$

$$-2a + 7 = \frac{7}{9}$$

$$a = \frac{28}{9}$$

であり、これは $2 < a$ を満たす。

以上より、 $m = \frac{7}{9}$ となるのは

$$a = \frac{\boxed{1}}{\boxed{3}}, \frac{\boxed{28}}{\boxed{9}}$$

のときである。

河合塾

センター試験過去問

レベル

数学 I.A, II.B